

# New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2016年1月

キリスト教会には、十字架が掲げられています。十字架とは一体何でしょう？そして、どういう意味で掲げられているのでしょうか？

——古代ローマ帝国が、地中海沿岸を統治していた時代。イエス・キリストがイスラエルに生まれたのは、そんな頃、今から約2000年も昔のことです。救世主が赤子としてユダヤの地、ベツレヘムの町に生まれることが、はるか昔から預言されていましたが、果たしてその通りになったのです。成長し、『神の国の福音』を説き、預言されていた通りに殺されました。この時に使われたのが、『十字架』です。数多く鞭打って体中ボロボロにしたあとで十字架に釘付けにし、死ぬまで放置・晒し者にする、という処刑のための道具なのでした。この、ある意味忌まわしいような処刑道具が、キリスト教会にはシンボルとして掲げられています。絞首台や電気椅子やギロチンを掲げるようなものなのに。

## 札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

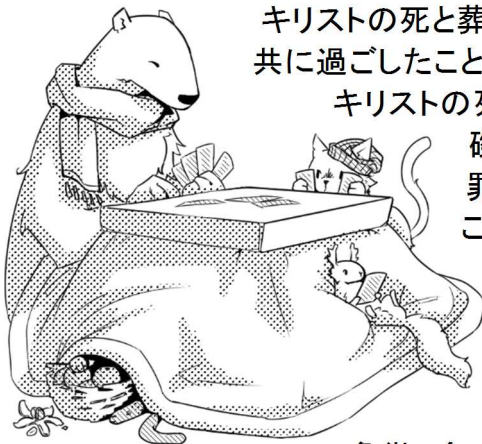
TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

# キリスト教会の十字架

使徒パウロは、書簡の中で次のように述べています。

**わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであつた。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえつたこと、ケパに現れ、次に、十二人に現れたことである。**  
(新約聖書 コリント人への第一の手紙 第15章3～5節)



キリストの死と葬りと復活。そして、復活後に弟子たちに会い、語り、共に過ごしたこと。これらが、「最も大切なこと」なのだと言います。

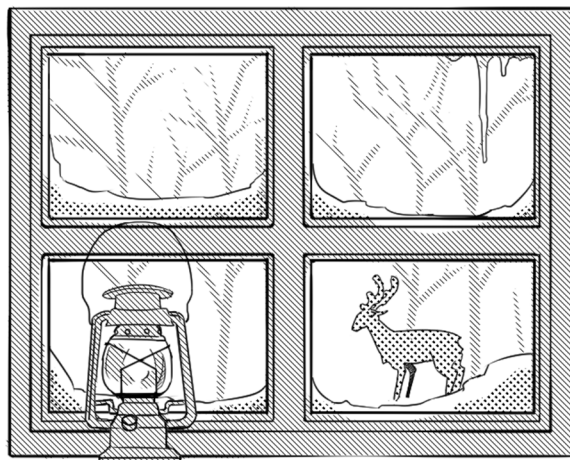
キリストの死は、私の罪の身代わり。本来は、私が十字架に磔(はりつけ)になって死ななければならないのに、罪の無いキリストが代わりに死んで下さった。そのことを信じ受け入れるなら、私はその刑罰を免れるばかりではなく、復活したキリストと、この世でも、死後も共に過ごすことができる。

このことのゆえに『十字架』は、恐ろしい処刑道具であるにもかかわらず、むしろ私の救いの象徴、命の源泉、永遠の希望を示すものとなったのです。

単なるアクセサリとして十字架を身に付ける人も多くおられます。でも本来は、とても意味が深いものなのです。(これらを信じていけないゆえに、キリスト教風の新興宗教(エホバの証人、モルモン教、統一教会など)では、十字架を掲げることをしません。これらは、キリストの名を利用するだけの、ただの宗教です)

## 祈ってみましょう

教会のシンボルとして掲げられている十字架の意味を読みました。イエス・キリストの十字架の意味を、知識としてだけでなく、実感として理解して、身代わりの死、罪のゆるしを受け取っていくことができるように、助けて下さい。イエス・キリストのお名前によって、お祈りいたします。



# 教会の定期集会のご案内

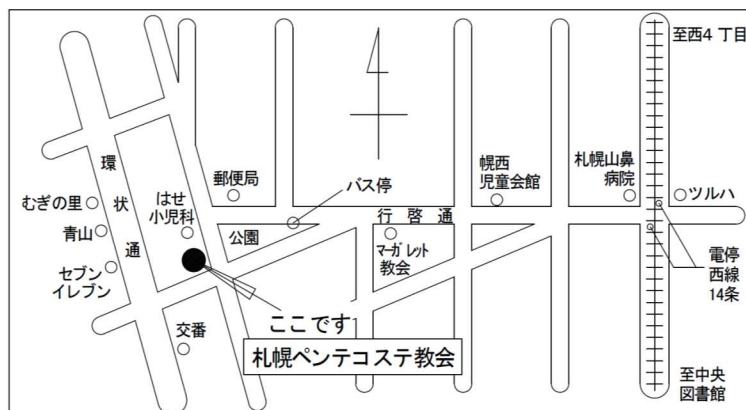
**GP クラブ** こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)  
毎月 1 回、日曜日の午後「GP ワークショップ」を開催しています。

**聖日礼拝  
祈り会** 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)  
神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。  
(第 2・4 木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。



## 【教会へのアクセス】

西 4 丁目電停から市電にて  
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、  
JR 北海道バス啓明線[51]にて  
南 14 条西 17 丁目下車